



よなご映像フェスティバルへの
ご声援、ありがとうございます！



CyberLink

ぼくんちのTV



米子シネマクラブ
YONAGO CINEMA CLUB



Studio
NICO-FILM

Ouipu
Design.
キーストライク
with
米子コンテナ工場

クロ
KURO
境港市中町26番地
☎ 0859-44-2086



山陰
ビデオ
システム

鳥取県民
チャンネル
コンテンツ
協議会

SCN Satellite
Communications
Network

株式会社中海テレビ放送



大山チャンネル 制作
(株)アマゾンラテルナ鳥取大山オフィス

第九次 米子映画事変



ご予約・お問合せ ▶ よなご映像フェスティバル実行委員会
Tel.080-5232-2993(水野) Mail. yonago.eizo.festival@gmail.com
<http://yonagoeizofestival.org/> よなご映像フェスティバルQ

全国税理士会文化財団助成事業

DAY.1
14:00 森達也
ドキュメンタリー講座
入場無料 | 参考上映あり

16:30
かわなかのぶひろ他
個人映画とドキュメンタリー

19:00
森達也監督新作!
i-新聞記者ドキュメント-

ドキュメンタリーは嘘をつく？

DAY.2
13:00 地元 ドキュメンタリー
作品集
15:00 一般公募作品
上映～入賞作品発表

**YNG
EIZO
FES!**

第12回

よなご映像フェスティバル

2019.12.14 sat 14:00 start 15 sun 13:00 start

会場:ガイナックスシアター

米子市末広町311イオン米子駅前店3階

入場チケット:2日間通し券:前売2000円・当日2300円
14(土):前売1500円・当日1800円 / 15(日):前売800円・当日1000円

◎プレイガイド:ガイナックスシアター/本の学校今井ブックセンター/今井書店錦町店/米子コンベンションセンター/米子市文化ホール/米子市公会堂

主催:よなご映像フェスティバル実行委員会/後援:BSS山陰放送

day.1 12.14 SAT
14:00 START

14:00-森達也 ドキュメンタリー特別講座

参考上映



『職業欄はエスパー』

1998年(50分) フジテレビ+グッドカンパニー

スープ曲げの清田益章、UFOの秋山真人、ダウジングの堤裕司一。かつて一世を風靡した、「超能力者であること」を職業に選んだ彼らは、今どんな生活を送っているのだろう。森監督は彼らの孤独をすくいとろうとする。

参考上映



『放送禁止歌 歌っているのは誰? 規制しているのは誰?』

1999年(50分) フジテレビ+グッドカンパニー

かつてフォークソングが時代の花形だった1960~70年代、体制を批判・揶揄する数々のプロテストソングが「放送禁止歌」の烙印を押され、いつの間にか闇へと消えていった。あの歌たちはどこへ行ったのだろう? 取材を進めると、不思議なことに、規制をしている主体が見つからないのだった…。

16:30- 個人映画= ドキュメンタリーとの交差点

安田哲監督



『ババアのロック』 2010年(22分)

東京在住の女流画家・宮夢美さん68歳。サインペンと紙で描かれた不思議な絵と宮さんの型にはまらない行き方に、私は大変興味を持った。ありのままに絵を描き、ありのままに生きる宮さんのドキュメンタリー。



マイノリティと セックスに関する2、3の事例

2007年(24分)

特製のストレッチャーに乗って街を駆け抜け、行きかう人に毒づく重度身体障害者・モンマ。「何見てんだよ」「頑張って下さい」と言うけど、何頑張るんだよ! 精力的に動き回る彼の姿に、作者は今の自分がより充実した生活を送っているのではないかと考え始める…。



19:00- 森達也監督 『i-新聞記者ドキュメント』



『痕跡 imprint —内藤陳がいた—』 2013年(45分)

1964年、東京オリンピックに湧き上がる渋谷六区。作者は小さなカレースタンドを任せていた。斜め向かいの松竹演芸場には、「ハードボイルドだぞ!」の決め台詞でブレイクしたトリオ・ザ・パンチが出演していた。

★終映後、 かわなかのぶひろ氏・ 森達也監督による トークあり!!

2019年(113分)
監督:森達也 出演:望月衣塑子 撮影:森達也+小松原茂幸
編集:鈴尾啓太 音楽:MARTIN 企画・製作:河村光庸 制作・配給:スター・サンズ
©2019「新聞記者ドキュメント」製作委員会
第32回東京国際映画祭日本映画大賞・部門作品賞受賞

官邸記者会見で鋭い質問を投げかける記者・望月衣塑子。なぜ彼女ばかりがフィーチャーされるのか? 彼女は特別なのか? オウム真理教の本質に迫った『A! A! 2』、ゴーストライター騒動を題材にした『AKER』などで知られる森達也監督が、望月記者の姿を通して日本社会が抱える同調圧力や忖度の正体を暴きだす。

day.2 12.15 sun
13:00 START

13:00- 地元ドキュメンタリー作品集 地域へのまなざし



佐々木友輔

『映画愛の現在 アーカイブ: よなご映像フェスティバル』

2019年 "10:00"

県内に映画館が3館しかない鳥取で、見たい映画を見る/作るべく活動する人々にインタビュー、映画愛の現在と未来を映し出す、これはその中間報告。



中森圭二郎

『BOOK STORE ~移住編~ その後の暮らし』

2019年 "37:00"

鳥取県湯梨浜町の本屋「汽水空港」を追った映像の続編。オーナー夫妻は社会と自分たちの生活をつなぐためのイベントを企画していた。



現時点プロジェクト『私はおぼえている』より
『濱根良太郎さんと砂地の記憶』
2019年 "20:00"

『長田はつ子さんと海女の記憶』
2019年 "25:00"

あらゆる人には語るべき人生がある—。
鳥取県中部を中心に高齢者のインタビューを記録し続ける現時点プロジェクトの新作より。

15:00-
一般公募部門入選作品上映
一次審査を通過した
入選23作品を
一挙上映!

18:00-
入賞作品発表・表彰式
最終審査により、グランプリ・
準グランプリ他 各賞が決まります。



副賞
入賞者の皆様に
プレゼント!
ビデオ編集ソフト

PowerDirector 18
提供:サイバーリンク株式会社様

ゲスト審査員



かわなか
のぶひろ
映像作家

1941年生。60年代より日本の個人映画・実験映画運動を牽引する存在として、100本を超える作品を作成。東京造形大学・イメージフォーラム映像研究所等で後進の指導にも力を注ぐ。よなご映像フェスティバルでは第1回から審査員として参加。主な作品に『SWITCH BACK』『絵日記』『浮小説』『映像書簡』シリーズ等多数。最新作は『これまでの経緯』『あれから、また、五年』



森達也

1956年広島生。ドキュメンタリー監督・作・明治大学特任教授。TV製作会社勤務後フリーランスとなり、1998年オウム真理教を内部からの視点を交えて描いた『A! A! 2001年の続編』『A! A! 2016年コストライター問題を追及した『AKER』』を発表。メディア報道と視聴者のイメージの齟齬を根柢からくつがえす手法が高い評価を得る。今年11月には新作『新聞記者ドキュメント』を発表。